

令和3年度 すくすくウォッチの結果について

令和3年(2021年)11月4日
枚方市立樟葉北小学校

調査の目的等

1. 調査目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査実施期間及び調査の対象

令和3年(2021年)5月26日(水)～6月2日(水) 小学校第5・6学年の児童

3. 調査内容

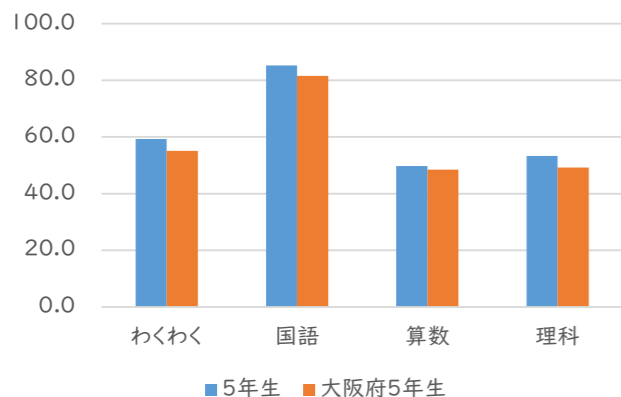
教科に関する調査

5年生・・・国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

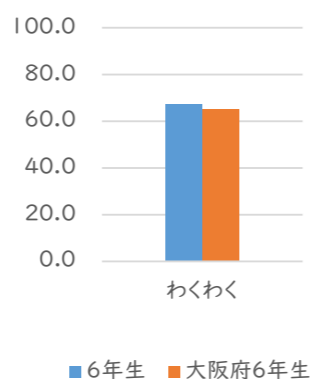
6年生・・・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

令和3年度すくすくウォッチの結果

すくすくウォッチ(5年生)



すくすくウォッチ(6年生)



全体的な傾向について

わくわく問題:5年生・6年生ともに大阪府の平均正答率を上回っている。

国語:大阪府の平均正答率を上回っている。

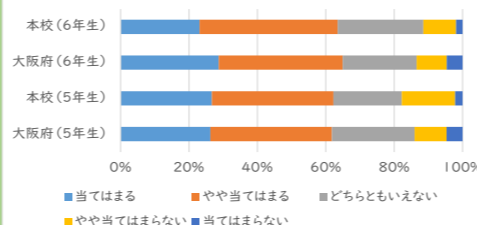
算数:大阪府の平均正答率を上回っている。

理科:大阪府の平均正答率を上回っている。

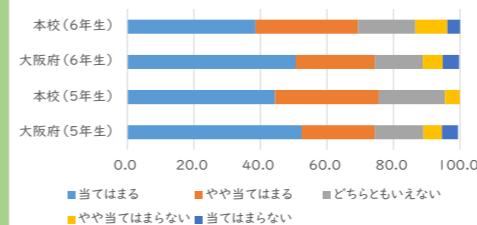
児童アンケートの結果

目標に向かって頑張る力・好奇心

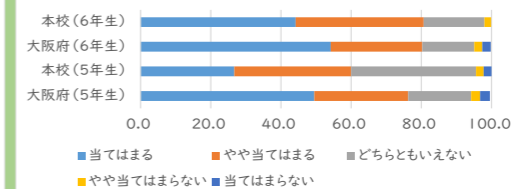
難しいことがあってもあきらめない



新しいことに挑戦することは好きだ

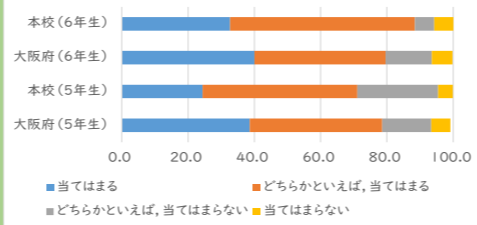


学級では友だちのよいところを互いに認め合える

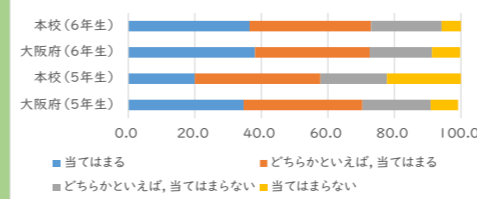


学校・授業での様子

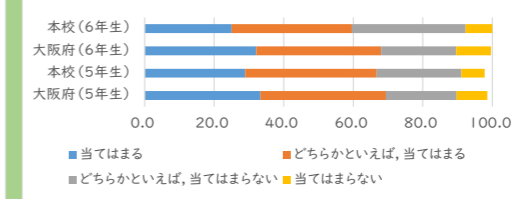
授業のめあてを意識して学習している



その時間に学んだことについて、ふり返りしている

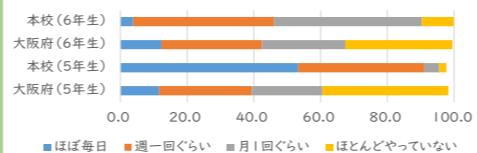


授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている

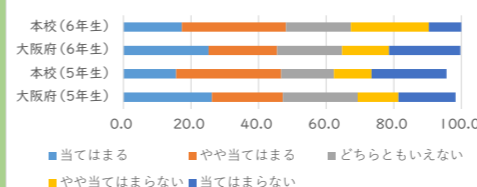


授業・家庭での様子

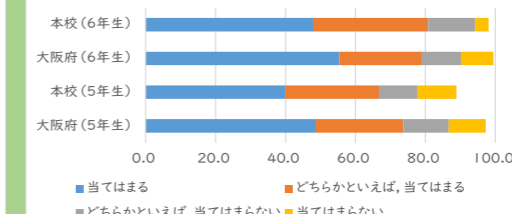
授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書き込んだり、まとめたりすることはどれくらいありますか



自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している(宿題は除く)



テレビや新聞等でニュースを見ている



今年度の結果及び今後の取り組みについて

国語・算数・理科・わくわく問題のすべてで、大阪府の平均正答率を上回る結果となった。しかし、児童アンケートの結果から5年生では、友だち関係の項目において大阪府より下回り、学習関係の項目について5、6年生で下回る結果となった。

この結果を踏まえ、授業を通して、「何を学ぶのか」「どのような力を身につけるのか」のめあてを明確にし、ふり返りをする中で自分の成長に気づかせ達成感を味わわせるようにする。また、「結果」ではなく「経過」に着目し、子どもたちの頑張りを認め、積極的にほめていき、子どもどうし認め合える関係をつくっていく。そのことにより自尊感情が高まり、お互いのことを認め合えたり、難しいことがあってもあきらめることなく取り組んだり、新しいことに挑戦したりすることができる。今後「HIRAKATA授業スタンダード」に基づいた授業改善を組織的・計画的に進め、「1人1台タブレット端末等のICTを